

【議論の内容】

1. サウンディングの結果概要

2. 事業者公募に向けた準備状況について

⇒事務局より説明

- これまでの意見交換の内容を取り込んでいただけていると感じた。資料2-4のP5の町が主催する事業に、わくわく音楽祭を追加してほしい。
- 療育のスペースについて、時間帯によって他の用途にも使われるとのことで、療育目的と他の目的の利用の配分が気になった。  
→利用していない時間の使い方を指定するのではなく、事業者の自由な提案を求めたいと考えている。事業者の提案が全てそのまま実現するわけではない。(事務局)
- 事業者が選定された後の設計対話でも要望を伝えていただきたい。
- ニーズを的確に反映できていると感じる。今後は、町民が運営に注力する必要がある。
- これまでの委員会の内容が上手く表現されていると思う。飲食機能に関する記載についても、理解できた。より多くの良い提案を期待する。
- サウンディング結果の「者」は「社」ではないか。運営事業者の運営能力が気になる。既存の樹木を残すことと記載があり、賛同する。建設費用の目安の根拠は？  
→ サウンディング結果についてはその通り。最終的に何社の応募があるか分からないが、実績もあり、参画意欲も高いように感じる。建設費用はホールの坪単価等から目安を示している。(事務局)  
→ 樹木は、旧御牧村役場の楠を移植したもの。(事務局)
- 家族から運営者によって公共施設の使いやすさに差があるという話を聞く。利用者が気持ちよく使えるような事業者を選べると良い。
- 町の行事やサークル活動を優先するとのことだが、残りの時間で自主事業を実施する場合、事業者として採算がとれるのか。自動販売機については、以前母子会から設置の申し出があった経験があり、母子会等の声も聞きたい。備品は建築費用に入るのか。図書館についての要望を出したが、図書館の職員の仕事量として無理のないようになっているか。省エネ対策として、ソーラーパネル等を付けるよう記載したほうが良いのではないのか。  
→ 事業者のノウハウを活かし限られた条件の中でプログラムを提案してもらおう。また、事業者には最低限の指定管理料が入るため、心配しすぎる必要はない。自動販売機については町と調整する。備品を決定するのは運営事業者がふさわしいため、運営事業者が町と協議して購入リストを作成する。一方、購入価格の観点から備品の購入は建設事業者が担当する。図書館については、社会教育課に確認の上、記載している。省エネについて、ソーラーパネルを設置する等決めてしまうと逆に高額になってしまうこともあるため、指定はしない。(事務局)

→ ZEBについての記載をしており、何らかの提案をしてもらえるようにしている。ソーラーパネルに限らず、提案を求めている。(事務局)

- 事業者の維持管理の工夫に関する提案を期待したい。
- 非常に分かりやすくまとめられていると思う。事業手法についても非常に納得感があり、良いセンターとなることを期待する。
- 最も気になるのは運営面。使い方を工夫して、サークル活動の活性化を期待する。建築については、多くの要望が詰め込まれており全てを実現できるか心配ではあるが、予算との兼ね合い等から可能な範囲でスペースを設け、そのスペースで出来ることをやっていければ良いと思う。
- 住民委員の皆様のお話を聞いて、満足いただけていると感じた。運営がセンターのキモとなることを再認識したため、良いセンターとなるような選定を心がけたい。
- これまでから現場の意見をよく反映させる必要があると申し上げてきた。引き続き、現場の職員や住民の声を聞くことを重要視していただきたい。公民館では、必ず自由な表現文化活動(簡単に言うとサークル活動)を大切にすべき。市民の草の根的活動を尊重する思想を、運営事業者と確認することが重要。司書、学芸員等の、人が非常に大切であるため、連携をより強調すべきだと思う。業務の分担にばかり焦点が当たらないように注意すべき。多機能であるがゆえに痛みが早いという側面もあるため、メンテナンスがしやすく、長く使い使われ続けるセンターを期待する。
- 会場の熱意が伝わってきた。建物が出来た後の使い方を具体的に想像されており、審査では普段から人を育てている事業者かを見極められるようにしたい。中高大生等の若い世代にまちづくりセンターを愛してもらうために必要なポイントがあれば、教えていただきたい。
  - ユースワーカーを実施している施設(京都市青少年活動推進協議会)の活動がヒントとなる。職員が重要で、居心地の良さを追求すると良いと思う。
- 京都府産木材の利用促進に関する記載があるが、木造か、内装の木質化かどちらを想定されているのか。建築の専門家は、樹木や土についての知識が少ない。1階フロアを1.1メートルあげる計画となっているため、可能であればランドスケープの専門科を配置するような要求水準としてはどうか。愛着を生むという観点から、一緒に作っていくような仕掛けが出来ると良い。
  - 規模から、構造が木造というよりは内装にふんだんに木材を使うことになるかと想定している。(事務局)
- 久御山町らしさをどう表現するかという議論はされてきたか。
  - アンケートの結果から「立ち寄りやすい」等のニーズが強く表れている。久御山町らしさとしては、広場の重要性が高いと感じており、資料中では丁寧に記載をしている。